



港工同窓会 ニュース

第9号 平成22年5月20日発行 発行責任者 前田武男

二十二年定期総会開催を

迎えるにあたって

港工同窓会会長

港3期全電力科 前田 武男

港工同窓会は平成元年大手町のサンケイホールで再建総会が開催されてから今年で22回目の総会を迎えます。

平成16年3月の母校閉校後は、統合新設された六郷工科高校のご好意によりなんとか総会を開催させて戴き、秋の六郷祭にも参加のご配慮を戴いております。

昨年4月20日発行の同窓会ニュース第8号でも書きましたが、「港工同窓会」は昭和26年頃に旧制高校同窓会を一本化して発足されました。

その後総会が2年に1回、3年に1回と活動が鈍りだし、創立総会開催より10年後の昭和36年頃活動が休止したと聞いております。

初代久保田同窓会々長は港工業20周年記念誌で「同窓会を一部の人のみに任せきりになってしまったことと同窓会不振の最大の原因だ」と反省されております。

同窓会の活動はボランティアにもかかわらず理事諸君達の貴重な時間と労力のお陰で、例えば同窓会ニュース(5124部)の編集・作成・

発行・郵送、また総会の準備・懇親会会場の設定、あるいは返信はがきでの住所変更等の情報による会員名簿の修正作業、毎月の理事会、その他種々の打ち合わせ等々努力と協力的なみなみならぬ苦勞を重ねてなんとか活動を続けてまいりました。

しかるに同窓生15663名に対し同窓会賛助金の協力者数は僅か556名(21年度)全体の4%ならず、総会出席者も年々減少し、昨年は32名でした。

私は最近同窓会の存続に少な

らず疑問を感じております。皆様は如何でしょうか？

このような状況が続けば同窓会の活動休止は時間の問題です。

一旦活動休止となれば母校閉校となった現在、再度の再々建は不可能かと考えられます。

母校が無い同窓会は皆様の賛助金及び寄付金のみが運営費の原資であり、皆様のご支援なくして今後の存続は有り得ません。

同窓生皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

◇平成22年度定期総会

今年度の定期総会は、六郷工科高校で総会、母校近くの愛宕山東急インで懇親会を開催します。旧母校々舎訪問も予定しますので、同級生やクラブの先輩、後輩等お誘い合わせの上ご参加されますようご案内申し上げます。

記

日時 平成22年6月19日(土)13時より

場所 総会 六郷工科高校 2階大会議室にて 13時より
(幹事の方は12時までに集合下さい)

懇親会 新橋愛宕山東急インにて 16時より18時まで
(京浜急行「雑色」下車徒歩3分)

懇親会 新橋愛宕山東急インにて 16時より18時まで
(JR「新橋」15分、都営地下鉄「御成門」7分他)

会費 10,000円 (総会のみの方は無料です)

内容 平成21年度事業・決算報告、新役員承認

平成22年度事業計画・予算案の承認その他

※会費は同封の郵便払込用紙の金額を賛助金共12,000円に訂正し郵便局にて事前払込をお願いします(ATM可)

※準備の都合上、6月10日までに同封はがきで出欠近況等返信をお願いします。

若き継承者

大田区町工場の次代を担う

専門高校生

我々同窓会では港工業高等学校の歴史を継承する、東京都立六郷工科高等学校の特色ある職業教育制度「デュアルシステム」について取材した。

地場企業で長期就業訓練。

産業界と学校がパートナーシップを深め、協調して人材を育成する新しい職業教育「東京版デュアルシステム」が導入から七年目を迎えた。高校の実習の一環として、企業で数ヶ月間働く訓練を卒業単位の一部に認める仕組みの背景には、単なる労働力確保ではない。

企業等での職業訓練を通して、生徒自ら目の前の仕事と向き合い、働くことと学ぶことの意味を見出せる狙いがある。

東京都立六郷工科高校(大田区六郷)は平成十六年に開校した。東京版デュアルシステムについては平成十四年九月、第二十期東京都産業教育審議会答申の実現に向け、同校への導入が決定。当時都教委担当として参画していた佐々木哲副校長は導入当初をこう振り返る。

「大田区を中心に地元企業と連携を深めていく過程が一番大変だった。当時は都教育庁と産業界が、業界団体などに足を運び、まずは制度の内容について理解を求めた。特に高度な技術力を持った中小企業の多い大田区は後継者育成が重要な課題となっていたため、自分の会社に役立つなら、と前向きな意見が寄せられた」

デュアルシステム科は定員三十人(推薦・一般各十五人)。一年次五月以降十一月まで多くの企業を見学させ、十二月にはインターシップ実施。職業を体験(二社五日間を二社)し、適性に合った職種・業種を考えさせるとともに、学校の授業では、一年次の工業技術基礎で様々なものづくりの楽しさを味わう。

一年次で力を入れていくことは、マナー教育、安全教育の徹底、さらに将来の自己実現を支える基礎学力の低Y宅には特に力を入れている。今年度からは一年次に工業科目「工業数理基礎」を取り入れて現場で役立つ三角関数などの職場に密着した授業内容を取り入れて指導していく予定である。

二、三年次では五月と十一月に一月ずつ計二ヶ月、長期就業訓練を実施する。学校では基礎学力の充実・向上に加え、実践的な技術・技

能の習得に力を注ぐ。

本制度の趣旨に賛同する地元企業は導入当初七十四社。現在は、約三倍の二百二十社を数えるまでに拡大した。

入試倍率は平成十七年度に推薦一・六倍、学力選抜二・〇七倍を記録したがその後は一倍前後で推移している。

「デュアルシステム制度そのものについて、中学教員や保護者に対する浸透が十分ではない。七年目を迎える今年度は、昨年度に引き続き成果と課題を検証することで、さらに発展させていく必要があるだろう」

佐々木副校長は「とにかく制度を理解してもらおうことが重要」と繰り返し指摘した。

「小・中学校は基本的にものを作ることは好き。ただ進路になつた場合、ものづくりを仕事と結び付けて考えない。保護者の世代ではとりあえず普通科という考えが主流で、高度な技術・技能を拠所に職に就くという素晴らしさに気づいていない気がします」

「例えば、優秀な技術者・技能者の社会的な位置付け、報酬、生きがいなどは一般の人には計り知れない。町工場の競争力に勝てる技術力が我々の生活にどのように貢献しているのか、具体的なものを提示するこ

とで技術者・技能者の素晴らしさ、技術・技能教育の大切さを感じてもらえるのではないかと」

一方、デュアルシステムについては労働力としての雇用にスポットが当たると向きもあるが、佐々木副校長は生徒が自ら将来を考える教育の意義を強調する。

「卒業後の将来の可能性自分の明るい未来を創造できるかどうか、地域の中小企業で体験の中で感じていくことが大事。たんに企業で働くのではなく、さまざまな自己の将来の可能性を考えていく機会と捉えてほしい。すでに到来している知識基礎社会では、言われたことをこなすだけでなく、視野を広げて考え、新たな技術や技能に対応するための能力が求められる」

同校が全国で初めて導入したデュアルシステムを支えているのは、大田区、品川区の高度な技術力を持った中小企業であることは言うまでもない。

「生徒への教育を中心に据え、考えていただく経営者には本当に頭が下がる思い。最近の経済状況下にあつては、さらに強く感じる。ただ本制度の運用にあたっては、当校と企業の皆さんとの相互理解が不可欠だ。

「次ページ下段へ続く」

第6回六郷祭に参加して

港(全)6期電力科 龍 健治

六郷祭や、六郷工科高校が無制限に成長し続けていると云う願いが込められた「Infinity」、「六工を止めるな」の力強いテーマにした六郷祭は、平成21年11月14、15日に盛大に開催された。

来訪者も前回より多く、1階玄関はパンフの配布と金券の販売で混雑していた。

内容は年々充実し展示品は各学科・クラブが競い、前回よりレベルが高く、模擬店もバラエティに富んでいた。

ねぶたや、神輿の水門通り商店街の巡行も、多くの来訪者と生徒を楽しませた。



港工同窓会ブースも前回と同様、誰でも寄れる休憩室サロン風に、周囲には歴史経過・著名人等のパネルを掲示、各種DVDのパソコン・テレビ映写での紹介をした。

人気だった昔のアルバムの他、戦前から使用されていた鐘が展示された。

開校時より昭和30年代初めまで約50年間使用したラベルが貼られていた。カランカランの鐘の音が再び聞けて、遠い昔の思い出が蘇り談笑の種になった。柄の部分が少しガタがあるが昔色は変わってない様子、大切に保管して次回も展示してほしい思いがした。

港工祭の50回以上のポスターも展示され懐かしかった。今回は新たに6名の方の住所がわかり、成果があったのではと思う。

展示品を見て回った中で、割り箸で作った手を見つけた、そっと手を触れてみたところ動きが人の手に似ていて、全体の関節がスムーズに動き、よく頑張ったものだと感じた。横には輪ゴムのピストルも展示しており、昔を思い出し懐かしかった。

今回デュアルシステム科は、シャープペンの芯0.5mmに10個の穴を開けたものを展示していた。拡大鏡でしか見ることが出来ず、技術の進

展に思わずため息が出てしまった。来訪者も拡大鏡で見る人が多く、関心が深かったようでした。

企業での実習写真や、作業日誌、展示品から、生徒の真剣な作業ぶりが今回各所にみられ、関係する先生方の一段と力強い取り組みを感じました。これは、今回六郷祭の力強いテーマにあっていると思いました。

港工同窓会々員の皆様、ぜひ六郷祭に来校され、物作り先端技術に挑戦している生徒や作品から、成長していく六郷祭を感じ取って見てほしいと思います。

また、同窓会ブースでの思い出話で談笑されるのも大いに歓迎します。次回も多くの方が来て下さるようお願いしますとともに、再会を楽しみにしています

※事務局注

龍理事は、本文寄稿後に急逝されました。同窓会再建以来、理事として本会の発展に貢献されました。感謝するとともに、謹んでお悔やみ申し上げます。

恩師計報

山本 敏昭(社会)全

ご冥福をお祈り申し上げます。

「前ページ下段の続き」

我々は教育として働きかけ、企業が当校に対して応えていただくことで本制度が成り立ってきた経緯がある。今年度は、開校以来六年間の実践を分析・評価し、東京版デュアルシステム制度の実証的な研究を行う。このことを通して、生徒や企業の実態に応じた制度としてさらに成熟させていきたい。」と佐々木副校長は意欲を示している。

今後のデュアルシステムを中軸とした六郷工科高等学校の充実と発展を大いに期待して港工業高校同窓会として応援・支援していきたい。

平成22年度定期総会

恩師出席予定

関 透 (第12代校長)

工藤 邦敏(教頭) 定

※現六郷工科高等学校校長

猪口 明 (自動車) 全◇

杉野 栄一 (自動車) 全◇

豊山 洲生 (自動車) 全◇

西原 要四郎(教務) 定

広橋 恭二郎(電気) 全◇

両角 亮一(数学) 全◇

敬称略

◇印は懇談会のみご出席です

返信はがきからの近況・想い出（特別会員・22年度）

旧（第10代校長） 村上 五雄

毎年のことながら、同窓会定期総会開催について、前田会長外役員の方々のご努力に敬意を表する次第です。高齢のため欠席いたしますが総会・懇親会が盛大に挙行されますよう祈念申し上げます。（賛助金納入の書類をお送りください）

旧（第12代校長） 関 透

およそ50年ほど前、港工高の電気通信科の新任教諭として採用され、放送部と水泳部の顧問として、はりきって勤務していたことを思い出しております。その時に担任した昭和39年卒の卒業生とは、最近では年2回のクラス会に招かれ、楽しい一時を過ごしています。幸せなことです。

旧（第15代校長） 小山 実

3月末で定年退職しました。4月から大学に行きます。

旧（教頭）定 三谷 和夫

どうか元気にすごしています。短歌（新アララギ）、地方史研究（「字誌」づくり、「新四国相馬霊場」の本づくり）、先祖書づくり、低山歩きなどをしております。

旧（教頭）全 野上 明夫

定年退職をしました。元気に生きています。

旧（教頭）全 相川 英昭

大田地区の中小企業に中国企業からの買収打診があるというのをテレビで見ても残念です。大田地区の発展とかがやかしい工業高校の復活を願っています。

旧（教頭）全定 桑原 洋

4月1日付けで田園調布高等学校長を命じられました。

旧（事務長）全 福田 和廣

現在「総合芸術高校」に勤務しております。

旧（事務長）全 田辺 秀典

新橋に勤務していますので、ときどき校舎周辺を通ります。周辺の建物が変わってきていますが、港工の校舎がそのままです。

旧（機械）定 三津田 宏

愛宕山下の高校で未熟な教師が若い皆さんと共に過ごした年月を忘れません。

旧（電気）全 小又 良一

旧港工、これほど地の利に恵まれた学校は無かったと思います。電車でも4つの駅から歩いて通えましたし、渋谷からのバスでも愛宕トンネルの反対側にバスタップがあり、私には5通りの通勤方法がありました。私が最も愛したのは地下鉄「虎ノ門」です。惜しくも先に逝かれてしまつた森川先生とは、この駅で出勤時にしばしば一緒になり、強歩で先を争つて歩いたり、モーツアルト協会に入会を誘つて貰つたり、その会の例会が毎月近くの飯野ビルで行われ、私の心の支えであるモーツアルトを深く知るキツカケにもなつたのも、実に有難い縁であったと、港工がらみで感謝しております。その飯野ビルも解体とは残念です。

旧（司書）全 岩城 芳子

銀座方面へ写真撮影でよくゆきますがなつかしく当時を思い出します。

旧（数学）全 岩下 政行

大学を卒業して最初に赴任したのは港工業高校で、教員の土台作りの9年間でした。最初に担任した諸君たちとは今も年賀状などお付き合いさせてもらっております。

旧（給食）定 佐藤 清子

皆様とお会いしたい気持ちはあるのですが、体の方が腰痛、近頃はひざも痛みが増し、リハビリに行くのが仕事です。

旧（数学）全 両角 亮一

閉校になつて久しくたちますが寂しいものです。同窓会に出席され、お互いにそれぞれの時代の思い出や近況を話し合う中で港工の心意気を出してほしいと思います。

旧（社会）定 藤崎 ミヤ子

昨年、愛宕山下近くにまいりました折、旧校舎を訪ねました。警察施設として使われているようです。舎内には入れませんが、しばらくあのテニスコート一面分の小さな校庭に佇み、当時の生徒や先生方、若かつた自分を探しました。

旧（機械）定 福富 千明

この3月退職。再任用で、引き続き本所工業高校に勤務しております。

旧（英語）全 甲斐 徳隆

「100歳まで元気に生きよう」と、体を鍛え、頭を使い、何事にも前向きに取りくむようにしています。「ラジオ深夜便」を聞いて人生の大先輩たちから元気をもらっています。

旧(電子)全 北島 敬巳
3月末で大学を退職します。

旧(英語)全 馬場 幸雄
ただただ山本敏昭先生が亡くなられたことを残念に思うこの頃です。この時期第1〜第3土曜は学校行事、懇親会で出られないのです。

旧(体育)全 小川 幸吉
校舎の屋上での野球を感慨深く思い出となっています。

旧(英語)全 佐藤 芳教
都立田柄高校に勤務しています。

旧(国語)全 江川 義人
校務分掌別の職員室が嫌で仕方ありませんでした。そして今、組合活動を活発にやった人が、校長になれると知りました。

旧(保健)全 関口 敦子
“日々穏やかなり”をモットーに過ごしております。

旧(国語)全 矢部 玲子
国語教師・進路指導担当としてお世話になりました。来年から大学で「国語の教師を育てる」講義を担当します。

旧(社会)全 藤井 恵子
現在田無工業に勤務しております。

工業以外も経験しましたが、工業の雰囲気(生徒・先生方とも)は、他には代え難いすばらしいものだからためて感じております。

旧(数学)全 栗原 幸一
現在駒場高校に勤務しています。

旧(電子)全 本杉 不二夫
私の定年退職と同時に、港工高が閉校しました。今、六郷工科で花が咲いています。67歳になり、これから私も77歳まで、孫の結婚式に出られるよう、生きたいと思えます。毎日筋トレして骨折も克服し、頑張りま

す。

旧(電子)全 南澤 晴夫
現在国分寺駅南口の「囲碁茶房・信濃」で席亭などしながら老後を過ごしています。近くに來られた折には、コーヒーなど飲み寄らせて下さい。

旧(家庭)全 檜垣 栄恵
相変わらず都立校の非常勤講師をしております。未熟だった港工時代、皆様にいるいる教えていただいたことを思い出しながら、生かしていきたいと思っております。

旧(嘱託技能) 中村 久子
新橋港工業の思い出はたくさんありますが、高齢の為に書くことが出来なくなりました。

旧(英語)全 十亀 有紀
なつかしい「港工」ですね。私の中では一番思い出多き学校でした。現在は八王子東高校で気持ち新たに担任しております。

旧(事務) 森谷 顕
現在都立三田高校に在職中です。港工業とは東京タワーを中心に反対側になります。港工業の時と同じく、通勤の際には東京タワーが間近く見えて、港工業の時を思い出します。同じ職場に、港工業の時に一緒だった瀬戸山さんがいらつしやるので時々、港工業の頃の話しをしています。

旧(自動車)全 大塚 健一
港工業高校自動車科にあった、工場1階に大切に保管されたフォードの車は六郷工科高校にあると聞いています。課題研究で最後の卒業生が整備点検したのを思い出します。私は今、シトロエン2CVチャールストンを保管、維持しています。(敬称略)

クラス会たより(21年度)

港(全) 2期C 白井 金次郎
毎年7月最終金曜日にクラス会を実施しています。(20名位の参加があります)

港(全) 3期A 波多野 稔
嘗ての校歌“朝日を港口の波上に迎え、入り日を峰の雲間に・・・”と私年代が全く知らない“愛宕の緑”の新校歌のギャップにいつも戸惑っている懇親会です。あと約4ヶ月そこそこで2年に1度の3期自動車科のクラス会で駄弁り合いたいです。全員喜寿を迎えました。

港(全) 5期E2 加藤 祐亮
5期E 時々数名ですが集合して居ます。

港(全) 5期C 大木 繁
奇しくもクラス会と同日時になってしまいました!! 18〜9人が集まります。(於銀座) 残念です。

港(全) 6期C 土子 賢治
われわれの同期会クラス会は、幹事のご苦労により、隔年で行っております。ありがたいことです。

港(全) 8期E2 滝野 泰弘
 現在も毎年1回新橋で同窓会を行って居ります。

同 中尾 力
 総会当日の15時より新橋亭でクラス会を開きます。私は幹事で総会懇親会には欠席ですが、級友どなたかが総会に出席される方がいると良いと思います。

港(定) 8期MA 青木 价弘
 クラス会は何とか毎年開いておりません。卒業時の人数34名でさとし会として、年2回ほど4名、12名くらいで楽しく顔合わせを行っています。

港(全) 10期E2 佐藤 弘司
 今年度の同窓会どうしたのかと思っ
 ていましたところ、また10期E2の
 クラス会と重なってしまいました。

港(全) 11期A 堀内 堅三郎
 一昨年の初夏(5/12土)に5、6
 年ぶりか?クラス会を横浜で行いま
 した。30名近くが集まったと思いま
 す。皆、元気でした。寺沢先生(担
 任)は此の数年前に逝去されていま
 す。

港(全) 11期E1 伊東 重幸
 21年2月11日(水)にクラス会を
 参加者12名で行った。会場は芝浦の

「アジュール竹芝」で港(竹芝棧橋)が見える部屋であった。廊下に出て愛宕山の方を見たが、ビルが立ちならび確認することはできなかった。東京タワーは目の前に見えた。建設当時学校からタワーが伸びていくのをながめていたのを思い出した。

港(全) 12期E1 竹之内 潔
 H21年4月11日(金)に伊豆・宇佐美で級会を行いました。44名中20名が参加しました。(3名逝去)。

これまでは新橋周辺で開いていましたが、今回は幹事さんの努力で初めて一泊で行い、夜遅くまで盛り上がりました。

同 江口 勝義
 平成22年5月にクラス会(1泊2日)を開催する予定です。

港(全) 14期C 杉木 富夫
 毎年宮本貴文先生を迎えてクラス会を行っています。(2009・4・18)同窓会継続努力に感謝しています。

港(全) 19期E1 土井 博
 19期E1クラスも平成20年度に還暦を向かえ、節目のクラス会を行いました。是非、今年こそはと考えております。

返信はがきからの近況・想い出(正会員) 21年度

高輪(二本)1期E 小堤 一彦
 「港工同窓会ニュース」拝読、遠い昔となった高輪時代を懐かしく想い出しました。

高輪(二本)1期E 藤原要之助
 元気に身体をうごかしております。東京がばかに遠く感じます。

麻布(二本)3期M 坂野 愛児
 麻布工業時代、米国機が初来襲して、さーっと引き上げていったのをぼかーんと見ていたのを思い出します。

担任は星先生でした。英語、ドイツ語、中国語を次々と習わされました。卒業は12月末日。現在は療養の身です。

麻布(二本)3期E 雨宮 正彦
 1麻布7期Eの栃尾さん、懐かしいですね、ほんの僅かですが同じ校庭の同じ空気を吸ったことになるのでしょうね、出来ればお会い致したい気がします。

2港3期Aの三宅さんの文中の棚橋先生は結婚早々の夫人と同伴で吾々の山登りに同行されました。(麻布工業時代のことです)引率は数学の花田先生だったと記憶しています。

3 港工旧職員の加藤さん(今日、平21、6、15)御自宅に御電話致しましたところ、奥様と思われるお方との話では発声御不自由とのこと、本復を祈念致しております。

港(全) 2期P 松本 宏
 旧母校校舎の見学とその近辺での懇親会実施は無理でしょうか?

港(全) 3期M 田中 一實
 断片的ですが、追想しますと
 ①高輪にあった機械工作の実習所
 ②秋に催された学校祭の行事
 ③曲垣平九郎で有名な愛宕山の石段教師で忘れられないのは村田先生の機械設計でした。ロード(荷重)、ストレス(応力)、ストレイン(歪)など英単語を混じえた講義は独特なもので個性豊かな指導ぶりは今になっても貴重な思い出です。

港(全) 4期C 阿部 武
 なつかしい三宅先輩のお名前を拝見し感激です。図書部でお世話になりました。連想されたのが6・3・3制施行で高輪工業が港工業高等学校併設中学校2年となり、高輪北町か

ら桜川小学校への間借移転でした。一人一人が何かの道具(椅子?)をかかえ、北町一札の辻―三田―御成門と徒歩で運んだのでした。この学校の屋上のみが我々の運動場です。この屋上で始めてポータブルラジオ(真空管式)超再生検波、マグネチックヘッドホン)。(小神野先生の自作?)を見ました。それから高2まで後輩の居ない学年を過ごすことになりました。

港(定) 4期E 田口 寛
 仄聞だが港工高の前身は市立高輪工業、「夜学」がルートと聴く。往時の新興国家日本が、ものづくりの下町にフィットさせ、心熱き勤労少年に応えたもの。ネット上、私立高輪商業と伝えられるのは誤りだろう。私の入校は戦後間もないころ。島木健作、坂口安吾などを耽読、雑誌「無線と実験」を愛読しラジオ少年に励んだ。メンデレーフの周期律、難解な Sias Myrna など勉学の嬉しさにも浸った。殺人光線研究者だった八巻先生、大川周明信奉の家田先生など、占領軍の眼を逃れ夜学教師に身をやつされた恩師の方々の印象が今も鮮やかである。

港(全) 8期C 本多 幸一
 東急文化村で元気に働いています。

港(全) 6期P 佐々木 修一
 今年3月4日放送のTBSラジオオウゆうワイドに生出演の俳優六平直政氏宛に、「ご父君の思い出」を投稿致しましたところ、沢山の投稿のなかから私の文章が真先に大沢悠里氏により紹介されました。

港(定) 7期M 銀木 太助
 元気です。74才でフルマラソンを走っています。

港(全) 8期M 前田 武弘
 ビデオデッキの草創期にヴィクターの開発チームに加わって開発を成功に導いた人が港の同窓生にいと聞いたことがあります。(NHKプロジエクトX)もし分かりましたらその人の話を会報に載せて下さい。
※事務局注
 ・その方は港(全)14期E卒大田善彦氏です。会報第3号に寄稿戴き、プロジェクトXのことを紹介させて頂きました。なお、放映番組「VHS・執念の逆転劇」のDVDは、六郷祭の港工同窓会ブースで放映しています。

港(全) 9期E2 戸嶋 惇陽
 私の在学中の昭和30年頃は、まだ結核が現在の癌みたくに罹ったら命がなくなるという不治の病でした。当

時、授業中に3階の窓から慈恵医大病院の裏門が良く見え頻りに霊柩車が出てゆくの理由をきくと結核によるなくなった人だと聞き、この病気の恐ろしさを実感として思い出します。

港(定) 9期MB 河野 正良
 6/22たけしのTVタックルで日本の物作りについて、岡部製作所の岡部社長が、物づくりは、14、15才から初めないとダメ、大学出は...と話していた。15才より昼は旋盤、セーパーの職工、夜は赤い灯、青い灯がともるころ、新橋駅を降りて港工で学んだことを思い出しました。定時制の我々は物づくりの原点にいたことを!

港(全) 10期E2 池田 克良
 昭和33年E2クラス卒業の我々も70才になりました。昨年も田島先生と20人の多くの仲間と楽しい一時を新橋の浪漫亭で過ごしました。一人二人と少なくなるのは残念ですが出席率の高いのは誇りです。旧交を暖め、呑んで、語り、歌い明日の英気を貰って帰ります。この中のゴルフ好きの友と毎月、佐倉CCで楽しく回っています。クラス会の幹事は、ご苦労様ですが、会がいつまでも続くことよと思っています。

港(全) 12期E1 森 正昭
 東京タワーが建設中で、少しずつ高くなっていくのを毎日見ながら、通学していました。「基礎がしっかりしていなければ、高い塔にならない」と自分をはげましていました。兄弟が就職したことで、家計も楽になり大学進学が許しをもらい、勉強していた時でもありました。

港(全) 12期C 金輪 一美
 以前出席した時は自分一人で非常にさびしい思いをいたしました。今度同級生をさそい、いざれ出席させて頂きます。いたって元気にしております。賛助金を即、振込みました。

港(定) 12期C 佐藤 與八
 毎日、元気で、地域のシニアクラブで頑張っています。

港(全) 13期A 富山 佑二郎
 図書室で夜、本の整理をしながら、窓から見える「東京タワー」の建設照明の平和さと、テレビニュースの「60年安保闘争」の激しさを見、平和への願いを感じた時代でした。

港(全) 14期E2 大海 隆
 同窓会ニュースを拝読、懐かしい名前と近況を見て、うれしく思ったり、寂しく思ったり。私は元気です。

港(全) 16期A 中村 逸郎

今も心に残っているのは、3年生の学校祭の時です。演劇部員も少なく、公演できないのではと危惧していた時、クラスのみんなが手伝ってくれました。と言うよりか主になって活動してくれました。舞台へ上がるのはいやだから照明係りをやるよ、と泣かせながら。いろいろと個性を發揮しながら困難なことを乗り越え、公演も無事に終わりました。終わった時の皆の笑顔、達成感にあふれた顔、ただただ感謝するのみでした。爺さんになっても皆に会えば青春そのものです。

港(全) 17期M 森 茂昭

還暦を過ぎ今年で62歳(H20)になります。港工業高等学校柔道部。屋上にあつた部屋を思い出します。芝商業高校との対抗試合で右足を骨折して、松葉杖で修学旅行に参加し、同級生にお世話になったことが思い出されます。

港(全) 18期E 2 波多野 英治

(旧姓)岩崎英治、水泳部。自動車科のメンバーとバンドを組んでパーティをよくやったのを思い出します。オヤジバンドが話題になっていますが、機会が会つたらやりたいと思う今日この頃です。

港(定) 46期E 雨宮 美津子

夏の夜、ライトのまわりにコウモリが飛ぶ中プールに入り、水泳の授業を受けたのをふと思ひ出しました。

港(全) 48期E 佐藤 俊英

僕は三田に住んでいるため、今でも港高工の前を通ります。青松寺や愛宕神社を散歩していると、学生時代夏休みにテニス部で皆と楽しく過ごしたことを想ひ出します。

港(定) 51期E 中山 篤

高校生活4年は、とても勉強になった貴重な時間でした。

港(全) 53期M 杉本 勇一

旧校舎は警視庁が使っているそうです。その後何かの役にと残しておくことはできないものでせうか。部活動帰りの西新橋は懐かしく決して忘れぬ青春です。

港(定) 55期E 名倉 道夫

私は平成11年3月にN.T.Tを退職し定時制に入学した者です。廃止になる最後で運が良かったと思ひます。

※ この他に多数の激励文を戴きました。お礼申し上げます。(敬称略)

>同窓会の連絡先が変わりました<
これまで物心両面で永らくお世話になりました。クリーンジャパンを退職しましたので、今後の住所変更の連絡・名簿内容の質問・クラス会近況等は下記の新事務局へお願いします。
記
〒278-0051 千葉県野田市七光台 158-5
港工同窓会 松岡 信之
(会計理事・港 16期A卒)
TEL 080-1278-1584(携帯) FAX 04-7129-0916
E-mail: atagoyama@minatokou.net

前期繰越額	3,003,564.-	
収入の部	1,417,159.-	
臨時会費		206,000.-
賛助金 556名		1,111,000.-
寄付その他		100,159.-
支出の部	1,417,159.-	
総会費 32名		308,207.-
通信費		554,060.-
広報費		321,760.-
文化祭・HP費		89,407.-
事務その他		143,725.-
次期繰越額	2,939,102.-	

旧校舎訪問について

旧校舎は現在警視庁の庁舎として使用されており、中庭(旧校庭)及びプールを埋立てた場所を駐車場とした事務所のため、内部立ち入りは出来ません。
但し、建物管理部署に同窓生が在職しており、総会当日、立会って戴けることになりました。
校舎内部は無理でも校庭から全体の雰囲気は感じられるかと思ひます。

訪問希望者は、当日15時30分に東急インに集合し、人数確認の上、まとまって訪問します。くれぐれも個人でバラバラに行かないようお願い申し上げます。
なお、警視庁の使用は来年3月までで退去すること、また、その後の方針は不明につき、今回が最後の訪問になる可能性があります。

◇編集後記

会報第9号は六郷工科高等学校の佐々木哲副校長をはじめ役員・恩師同窓生のご協力を得て発行出来ました。厚くお礼申し上げます。
編集者が転職で多忙のため内容が縮小簡略化の上、発送が遅れましたことを深くお詫び申し上げます。